

NPO法人子どもサポートネットあいち
【2012年 児童養護施設における暴力に関するアンケート調査報告-職員調査】

①調査目的

本調査の目的は児童養護施設における暴力の状況とその背景を把握し、その暴力事例に関する対応のプロセスの分析を行い、よりよい対応方法を検討することです。施設職員対象のアンケート調査を実施し、その結果を生かして施設で生じている暴力や潜在化している暴力的な行為を防ぐこと、子どもたちが安心して生活ができる環境づくりに役立てることをねらいとしています。なお、職員調査は本音の回答が得られるよう、また倫理的配慮のため、匿名で行いました。

また、本調査における暴力の定義については、「人の心とからだを傷つける行為」とし、この定義に該当する行為を暴力として、各回答者にご判断をしていただきました。そのため、暴力へのとらえ方に若干の個人差がございますことを、あらかじめご了承ください。

②調査対象 児童養護施設の職員 施設数585箇所(質問紙3部(経験年数3段階別))

郵送部数1755 * 郵送により無記名で個別に投函していただく

③調査期間 2012年6月末～7月末

④回収率 有効回答数377 回収率21.5% *森田ゆり「子どもと暴力」(1999)の定義を援用

**回答者
基本属性**

図-1 回答職員の経験年数(n=377)

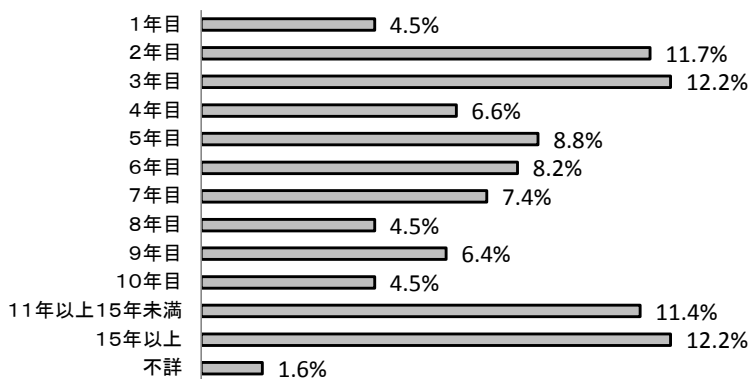
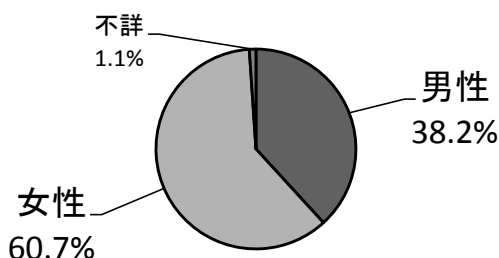
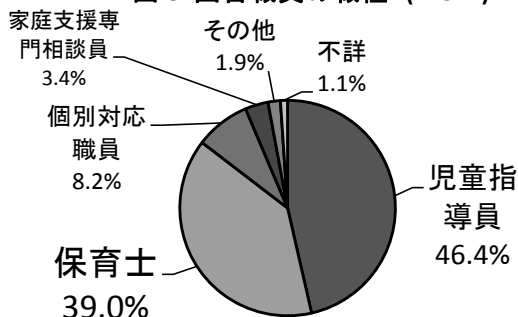


図-2 回答職員の性別 (n=377)

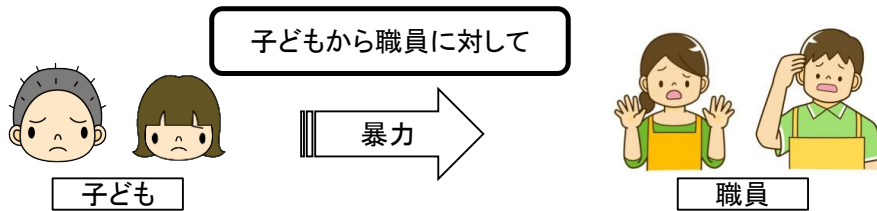


回答者の基本属性として、経験年数別では1年～5年が、43.8%、6年～10年が31.1%、11年～は23.6%で、**経験年数が5年未満の層が4割程度**でした。また、男女別では**女性職員が6割(60.7%)、男性職員が約4割(38.2%)**でした。

図-3 回答職員の職種 (n=377)



回答者の基本属性として、職種別では、**児童指導員が約5割(46.4%)**、保育士が4割(39.0%)でした。

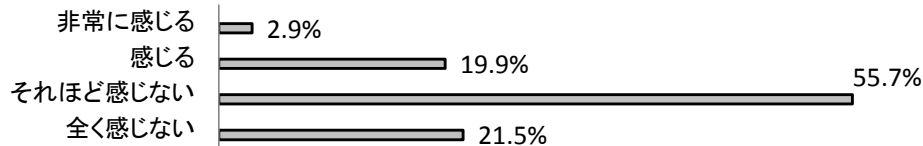


問1 日頃より、子どもから暴力を受ける不安を感じますか？

表1-1 子どもから暴力を受ける不安を感じるか

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非常に感じる	11	2.9	2.9	2.9
感じる	75	19.9	19.9	22.8
それほど感じない	210	55.7	55.7	78.5
全く感じない	81	21.5	21.5	100.0
合計	377	100.0	100.0	

図4 子どもからの暴力の不安(n=377)



日頃より子どもから暴力を受ける不安を感じるか尋ねたところ、「非常に感じる」「感じる」を合わせて2割以上(22.8%)の職員が子どもからの暴力の不安感をもっていることがわかりました。

表1-2 暴力の不安(2分類)と属性性別のクロス表

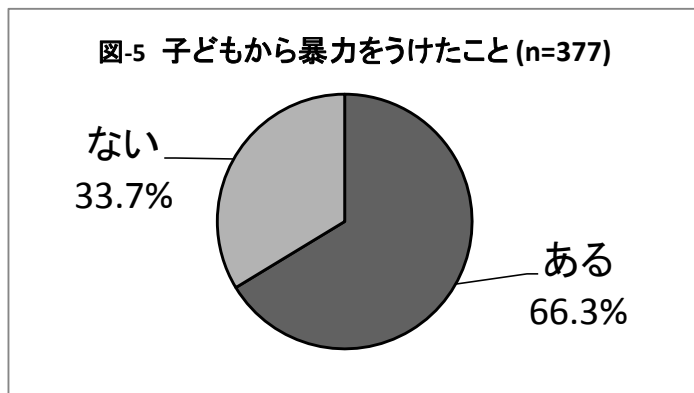
		属性性別		合計
		男性	女性	
暴力の不安 2種類	感じる	度数 26	60	86
		属性性別 の%	18.1%	26.2%
	感じない	度数 118	169	287
		属性性別 の%	81.9%	73.8%
合計	度数	144	229	373
	属性性別 の%	100.0%	100.0%	100.0%

日頃より子どもから暴力を受ける不安を、「非常に感じる」「感じる」は、「感じる」とし、「それほど感じない」「全く感じない」を「感じない」に2分類を行い、職員男女別にクロス集計を行ったところ、男性職員(18.1%)よりも女性職員(26.2%)の方が子どもからの暴力の不安感を「感じている」ことがわかりました。

問2 これまでに、子どもからの暴力を受けたことがありますか？

表2-1 子どもから暴力を受けたことがあるか

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
ある	250	66.3	66.3	66.3
ない	127	33.7	33.7	100.0
合計	377	100.0	100.0	



職員に、これまで子どもから暴力を受けたことがあるか尋ねたところ、**6割以上(66.3%)が暴力を受けた経験があると答えました。**

表2-2 子どもからの暴力を受けたことがあると回答された職員の方のみに、いつ頃暴力を受けたのか【1年以内に受けた・1年以上前に受けた】

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1年以内に受けた	137	36.3	55.2	55.2
1年以上前に受けた	111	29.4	44.8	100.0
合計	248	65.8	100.0	

※1年とは、2011年7月～2012年7月の期間(本調査の実施月からさかのぼって1年)

*「1年以内に暴力を受けた」と回答された方のみ聞きます。

問3 ① 1年以内に子どもから暴力を受けた回数を教えてください。

表3-1 1年以内に暴力を受けた回数

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1～3回	73	19.4	54.5	54.5
4～7回	27	7.2	20.1	74.6
8～10回	8	2.1	6.0	80.6
11～13回	6	1.6	4.5	85.1
14回以上	20	5.3	14.9	100.0
合計	134	35.5	100.0	

1年以内に子どもから暴力を受けた職員に、受けた回数を尋ねたところ、**1～3回が5割以上(54.5%)**で、3回を上回る回数であった職員も5割程度(45.5%)であり、**内、10回を超えて受けた職員は2割程度(19.4%)**でした。

*「1年以内に暴力を受けた」と回答された方のみ聞きます。
問3 ② 暴力をふるった子どもについて、人数を教えてください。

表3-2 職員に暴力をふるった子どもの人数について

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1人	69	18.3	51.9	51.9
2人	32	8.5	24.1	75.9
3人	15	4.0	11.3	87.2
4人	4	1.1	3.0	90.2
5人	3	.8	2.3	92.5
6人以上	10	2.7	7.5	100.0
合計	133	35.3	100.0	

1年以内に子どもから暴力を受けた職員に、その子どもの人数を尋ねたところ、**1人が5割以上(51.9%)**であり、約半数が1人の子どもから受けていることがわかりました。また、2人以上は5割程度(48.2%)であり、内、**5人以上は1割程度(9.8%)**でした。

*「1年以内に暴力を受けた」と回答された方のみ聞きます。
問3 ③ 暴力をふるった子どもの性別と人数を教えてください。(複数回答可)

表3-3 職員に暴力をふるった子どもの性別 (ケースの要約)

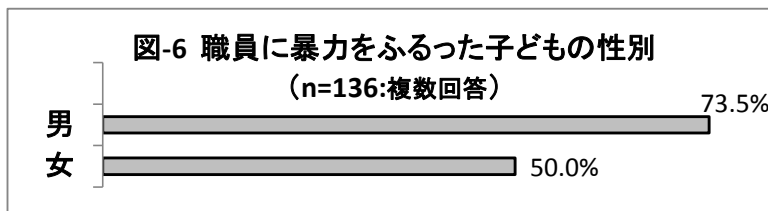
ケース					
有効数		欠損値		合計	
N	パーセント	N	パーセント	N	パーセント
136	36.1%	241	63.9%	377	100.0%

11

表3-4 職員に暴力をふるった子どもの性別 【複数回答】

	応答数		ケースのパーセント
	N	パーセント	
男	100	59.5%	73.5%
女	68	40.5%	50.0%
合計	168	100.0%	123.5%

1年以内に子どもから暴力を受けた職員に、その子どもの性別を尋ねたところ(複数回答)、**男の子から受けた職員が7割程度(73.5%)**でした。また、女の子から受けた職員は5割(50.0%)でした。



※複数回答のため、男女それぞれから受けたという職員は両方に回答しています。

表3-5 職員に暴力をふるった子どもの人数と性別 (男) 【複数回答】

人数	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1	56	14.9	57.7	57.7
2	21	5.6	21.6	79.4
3	10	2.7	10.3	89.7
4	4	1.1	4.1	93.8
5	1	.3	1.0	94.8
6	3	.8	3.1	97.9
7	2	.5	2.1	100.0
合計	97	25.7	100.0	

表3-6 職員に暴力をふるった子どもの人数と性別 (女) 【複数回答】

人数	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1	44	11.7	64.7	64.7
2	10	2.7	14.7	79.4
3	10	2.7	14.7	94.1
4	2	.5	2.9	97.1
5	2	.5	2.9	100.0
合計	68	18.0	100.0	

*「1年以内に暴力を受けた」と回答された方のみ聞きます。

問3 ④ 暴力をふるった子どもの年齢(年代)と人数を教えてください。(複数回答可)

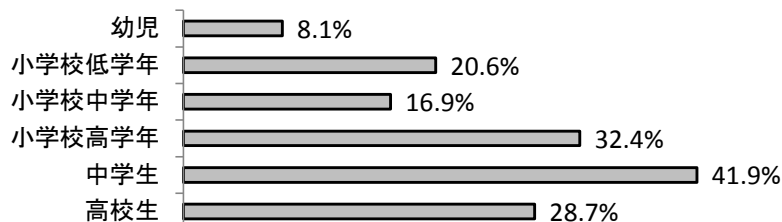
表3-7 職員に暴力をふるった子どもの年代 (ケースの要約)

ケース					
有効数		欠損値		合計	
N	パーセント	N	パーセント	N	パーセント
136	36.1%	241	63.9%	377	100.0%

表3-8 職員に暴力をふるった子どもの年代 【複数回答】

	応答数		ケースのパーセント
	N	パーセント	
幼児	11	5.4%	8.1%
小学校低学年	28	13.9%	20.6%
小学校中学年	23	11.4%	16.9%
小学校高学年	44	21.8%	32.4%
中学生	57	28.2%	41.9%
高校生	39	19.3%	28.7%
合計	202	100.0%	148.5%

図-7 職員に暴力をふるった子どもの年代 (n=136:複数回答)



職員に暴力をふるった子どもの年代を尋ねたところ(複数回答)、最も多かったのは中学生で4割以上(41.9%)、次に小学校高学年で3割以上(32.4%)、高校生が3割弱(28.7%)であり、中学生とその前後の年代が職員への暴力が多いことがわかりました。

表3-9 職員に暴力をふるった子どもの年代 (男女別) (度数) 【複数回答】

	男	女
幼児	20	13
小学校低学年	24	17
小学校中学年	19	12
小学校高学年	34	26
中学生	38	31
高校生	29	19
合計	164	118

表3-10 職員に暴力をふるった子どもの年齢と人数 【複数回答】

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	合計
幼児	8	2	1	2	0	1	14
小学校低学年	20	5	2	1	0	0	28
小学校中学年	13	8	0	1	0	0	22
小学校高学年	35	5	2	1	1	0	44
中学生	43	7	4	1	2	0	57
高校生	1	33	4	2	0	0	40
合計	120	60	13	8	3	1	205

*「1年以内に暴力を受けた」と回答された方のみ聞きます。

問3 ⑤ 暴力をふるった子どもの障害の状況を教えてください。医師の診断名有無（複数回答可）

表3-11 職員に暴力をふるった子どもの障害の診断状況（ケースの要約）

有効数		ケース		合計	
N	パーセント	N	パーセント	N	パーセント
134	35.5%	243	64.5%	377	100.0%

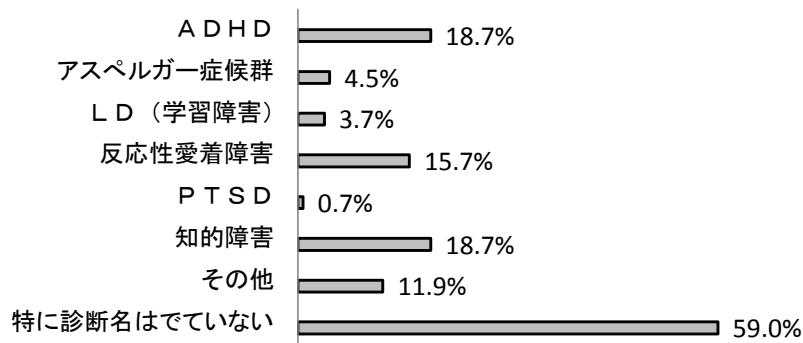
表3-12 職員に暴力をふるった子どもの障害の診断状況（度数分布表）【複数回答】

	応答数		ケースの
	N	パーセント	パーセント
ADHD	25	14.0%	18.7%
アスペルガー症候群	6	3.4%	4.5%
LD（学習障害）	5	2.8%	3.7%
反応性愛着障害	21	11.8%	15.7%
PTSD	1	0.6%	0.7%
知的障害	25	14.0%	18.7%
その他	16	9.0%	11.9%
特に診断名はでていな	79	44.4%	59.0%
合計	178	100.0%	132.8%

※医師の診断により、上記の診断名がついたもの

職員に暴力をふるった子どもの障害の診断状況を尋ねたところ（複数回答）、最も多かったのはADHDと知的障害でそれぞれ約2割程度(18.7%)、次に反応性愛着障害で1割半(15.7%)でした。特に診断名は出ていないという回答者は6割(59.0%)であったが、何らかの診断を受けているものは、全体の3～4割であることがわかりました。

図-8 暴力をふるった子どもの障害の状況
※医師の診断有 (n=134:複数回答)



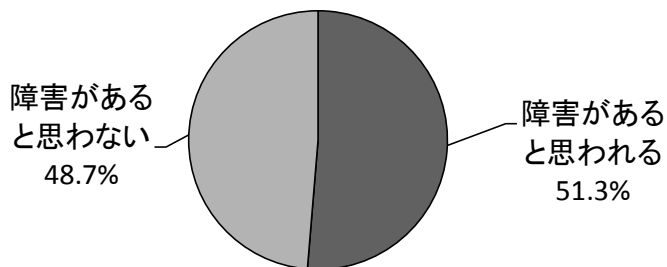
*「1年以内に暴力を受けた」と回答された方のみ聞きます。

問3 ⑥ 先の問3の⑤で、医師から「特に診断名はでていない」に回答した場合のみに聞きます。診断名はついていないが、何らかの障害があると思われませんか。

表3-13 障害があると思われるか
(問3-⑤で「特に診断名は出ていない」と回答した者のみ回答)

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
障害があると思われる	39	49.4	51.3	51.3
障害があると思わない	37	46.8	48.7	100.0
合計	76	96.2	100.0	

図-9 特に診断名は出ていない子どもについて
(n=76)



職員に暴力をふるった子どもの障害の診断状況で、特に診断名は出ていないという回答者(6割)に、その子どもに診断名は出ていないが、何らかの障害があると思われるか尋ねると「と思われる」と回答したものが、5割(51.3%)で約半数でした。

*「1年以内に暴力を受けた」と回答された方のみ聞きます。

問4 どのような暴力がありましたか。(複数回答可)

表4-1 子どもから職員に対してどのような暴力があったか (ケースの要約)

ケース					
有効数		欠損値		合計	
N	パーセント	N	パーセント	N	パーセント
140	37.1%	237	62.9%	377	100.0%

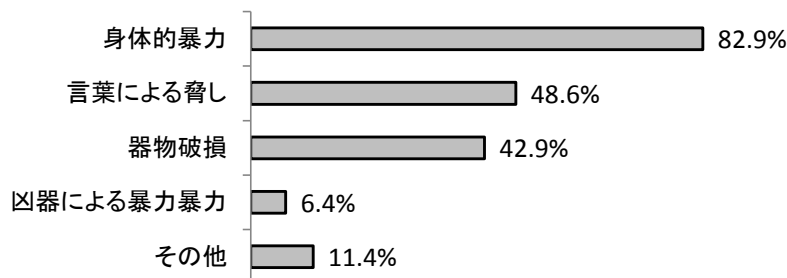
表4-2 子どもから職員に対してどのような暴力があったか (度数分布表)

【複数回答】

	応答数		ケースの
	N	パーセント	パーセント
身体的暴力	116	24.4%	82.9%
* 身体的暴力（殴る）	61	12.8%	43.6%
* 身体的暴力（蹴る）	79	16.6%	56.4%
* 身体的暴力（叩く）	66	13.9%	47.1%
言葉による脅し	68	14.3%	48.6%
性的暴力	0	0.0%	0.0%
器物破損	60	12.6%	42.9%
凶器による暴力	9	1.9%	6.4%
その他	16	3.4%	11.4%
合計	475	100.0%	339.3%

* 身体的暴力の内訳（殴る・蹴る・叩く）

図-10 子どもから職員に対する暴力行為の内容
(n=140:複数回答)



一年以内に子どもから職員への暴力の内容(複数回答)では、「**身体的暴力**」が最も多く、**8割以上(82.9%)**でした。次いで、言葉による脅しが約5割(48.6%)でした。

★上記で子どもからの暴力行為を受けたと回答された方に、その子どものうち、最も対応に苦慮した事例について、以下、問5～問9の設問に答えていただく。(内、問7～9は自由記述)

*「1年以内に暴力を受けた」と回答された方のみ聞きます。

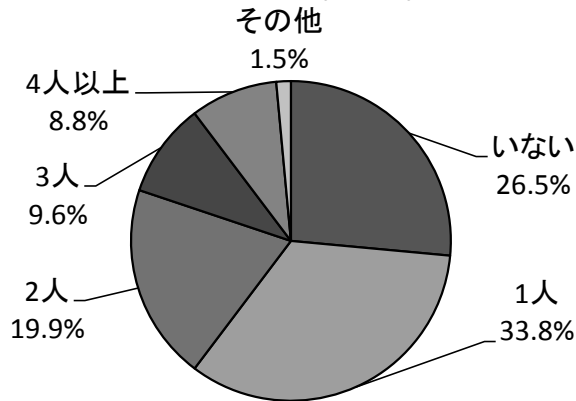
**暴力行為を起こした子どもの内、最も対応に苦慮した暴力行為の事例についてお聞きます。

問5 その暴力があったときの職員体制で、すぐに駆けつけてくれる範囲にいた職員の人数を教えてください。

表5-1 暴力があった時にすぐ駆けつけてくれる範囲にいた職員の人数

人数	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
いない	36	9.5	26.5	26.5
1人	46	12.2	33.8	60.3
2人	27	7.2	19.9	80.1
3人	13	3.4	9.6	89.7
4人以上	12	3.2	8.8	98.5
その他	2	.5	1.5	100.0
合計	136	36.1	100.0	

図-11 暴力があった時にすぐ駆けつけてくれる範囲
にいた職員(n=136)



一年以内に子どもから職員への暴力があった時にすぐ駆けつけてくれる範囲にいた職員について、「1人」が3割以上(33.8%)、次いで「いない」約3割(26.5%)、「2人」が約2割(19.8%)でした。

表5-2 施設形態とすぐ駆けつけてくれる範囲にいた職員の有無のクロス表

施設形態	大舎制	度数	する来れる人有無		合計
			いない	いる	
		20	21.5%	73	93
		73	78.5%		100.0%
	中舎制	7	28.0%	18	25
		18	72.0%		100.0%
	小舎制	6	26.1%	17	23
		17	73.9%		100.0%
	グループホーム	2	40.0%	3	5
		3	60.0%		100.0%
合計		35	24.0%	111	146
		111	76.0%		100.0%

一年以内に子どもから職員への暴力があった場合で、最も対応に苦慮した事例について答えてもらい、「その暴力が起きたときの職員体制」で、すぐに駆けつけてくれる範囲にいた職員がいたかどうかで、施設形態別のクロス集計を行いました。すぐに駆けつけてくれる範囲に職員が「いる」という割合が最も高かった形態は大舎制が約8割(78.5%)でした。また、グループホームでは、すぐに駆けつけてくれる範囲に職員が「いない」割合が最も高く、4割(40.0%)でした。

*「1年以内に暴力を受けた」と回答された方のみ聞きます。

**暴力行為を起こした子どもの内、最も対応に苦慮した暴力行為の事例についてお聞きします。

問6 その事例について、推測される暴力行為の起因を教えてください。(複数回答可)

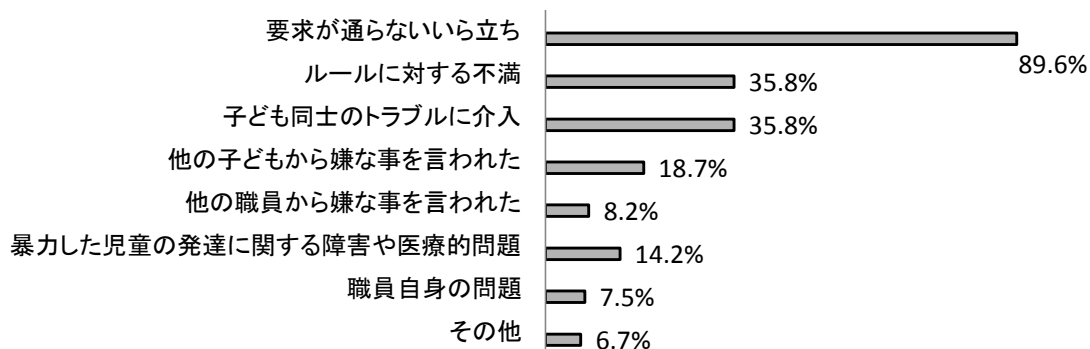
表6-1 子どもから職員に対する暴力行為の起因(ケースの要約)

有効数		欠損値		合計	
N	パーセント	N	パーセント	N	パーセント
134	35.5%	243	64.5%	377	100.0%

表6-2 子どもから職員に対する暴力行為の起因(度数分布表)【複数回答】

	応答数		ケースの
	N	パーセント	パーセント
要求が通らないいら立ち	120	41.4%	89.6%
ルールに対する不満	48	16.6%	35.8%
子ども同士のトラブルに介入	48	16.6%	35.8%
他の子どもから嫌な事を言われた	25	8.6%	18.7%
他の職員から嫌な事を言われた	11	3.8%	8.2%
暴力した児童の発達に関する障害や医療的問題	19	6.6%	14.2%
職員自身の問題	10	3.4%	7.5%
その他	9	3.1%	6.7%
合計	290	100.0%	216.4%

図-12 子どもから職員への暴力行為の起因 (n=134: 複数回答)



子どもから暴力を受けたことがある職員で1年以内にあった方の中に、「最も対応に苦慮した事例」についてあげてもらい、その暴力事例について推測される暴力行為の起因について尋ねました(複数回答)。最も多くあったのは、「**要求が通らないいら立ち**」で、**約9割(89.6%)**でした。次に、「ルールに対する不満」、「子ども同士のトラブルに介入したとき」が3割以上で続きました。

問7～9に関しては自由記述のため、本調査報告の巻末資料をご参照ください。

<問いの内容>

*「一年以内に暴力を受けた」と回答された方のみ聞きます。

**暴力行為を起こした子どもの内、最も対応に苦慮した暴力行為の事例についてお聞きます。

問7 暴力行為の背景・要因と暴力の内容について詳しくお答えください。【自由記述】(表7-1)

問8 暴力行為が生じた直後、どのような対応をとったか詳しくお答えください。【自由記述】(表8-1)

問9 暴力行為への対応で①その後の経過と②効果があったと思われる対応について詳しくお答えください。【自由記述】(表9-1)

*「暴力を受けた」と回答された方のみ聞きます。(受けた時期に関係なくお答えいただく)

問10 子どもからの暴力行為を受けた時の施設形態やあなたの状況について教えてください。

① 暴力行為のあった子どもの属する当時の施設形態をお答えください。(※参照)

表10-1 子どもから職員に対する暴力での子どもの属する当時の施設形態

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
大舎制	162	43.0	63.0	63.0
中舎制	42	11.1	16.3	79.4
小舎制	42	11.1	16.3	95.7
グループホーム	10	2.7	3.9	99.6
その他	1	.3	.4	100.0
合計	257	68.2	100.0	

子どもから暴力を受けたことがある職員に、暴力行為のあった子どもの属する当時の施設形態を尋ねたところ(複数回答)、最も多かったのは、**大舎制で6割(63.0%)**でした。

※上記回答の際、以下の厚生労働省調査における形態の定義にそってお答えいただく。

【大舎】一舎あたり定員数が20人以上

【中舎】同13～19人

【小舎】同12人以下

【グループホーム】本体施設と離れた地域において6～8人程度

*「暴力を受けた」と回答された方のみ聞きます。(受けた時期に関係なくお答えいただく)

問10 ② 暴力行為のあった子どもの属する当時の施設形態のうち、制度上(国および都道府県の施策など)の形態についてお答えください。

表10-2 問10の①についての制度上の形態

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
小規模グループケア	37	9.8	24.2	24.2
地域小規模児童養護施設	25	6.6	16.3	40.5
その他	17	4.5	11.1	51.6
なし	74	19.6	48.4	100.0
合計	153	40.6	100.0	

*「暴力を受けた」と回答された方のみ聞きます。(受けた時期に関係なくお答えいただく)

問10 ③ 子どもから暴力行為を受けたときの職種をお答えください。

表10-3 子どもから暴力行為を受けたときの職員の職種

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
児童指導員	133	35.3	52.8	52.8
保育士	105	27.9	41.7	94.4
個別対応職員	10	2.7	4.0	98.4
家庭支援専門相談員	2	.5	.8	99.2
その他	2	.5	.8	100.0
合計	252	66.8	100.0	

子どもから暴力を受けたときの職種では、**児童指導員が約5割(52.8%)**で、**保育士が約4割(41.7%)**でした。

*「暴力を受けた」と回答された方のみ聞きます。(受けた時期に関係なくお答えいただく)

問10 ④ 子どもから暴力行為を受けたときの経験年数をお答えください。

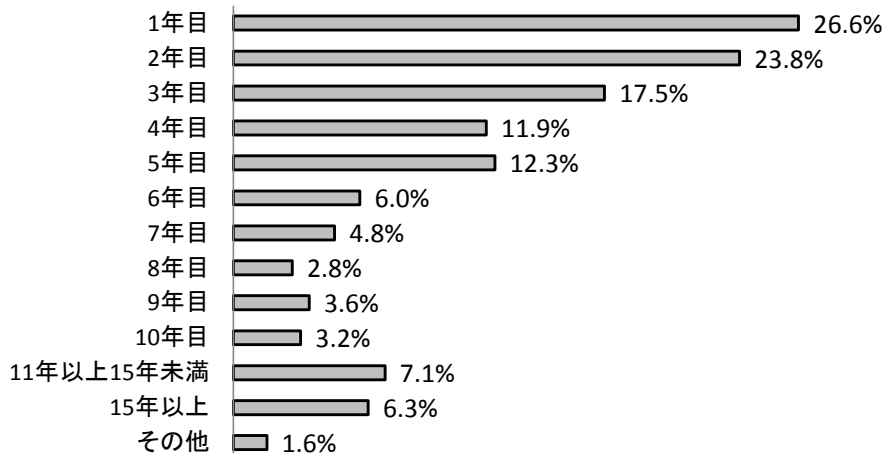
表10-4 子どもから暴力行為を受けた時の経験年数（ケースの要約）

有効数		ケース		合計	
N	パーセント	N	パーセント	N	パーセント
252	.7	125	.3	377	1.0

表10-5 子どもから暴力行為を受けた時の経験年数（度数分布表）【複数回答】

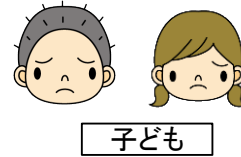
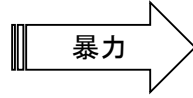
	応答数		ケースのパーセント
	N	パーセント	
1年目	67	20.9%	26.6%
2年目	60	18.7%	23.8%
3年目	44	13.7%	17.5%
4年目	30	9.3%	11.9%
5年目	31	9.7%	12.3%
6年目	15	4.7%	6.0%
7年目	12	3.7%	4.8%
8年目	7	2.2%	2.8%
9年目	9	2.8%	3.6%
10年目	8	2.5%	3.2%
11年以上15年未満	18	5.6%	7.1%
15年以上	16	5.0%	6.3%
その他	4	1.2%	1.6%
合計	321	100.0%	127.4%

図-13 子どもから暴力行為を受けた時の経験年数 (n=252:複数回答)



子どもから暴力を受けたことがある職員にその時の経験年数を尋ねました(複数回答)。**最も多かったのは、1年目で2割半以上(26.6%)**、次に2年目で2割(23.8%)以上、次に3年目で1割半以上(17.5%)でした。**経験年数が短い時に子どもから暴力を受けたというものが多く**占めていました。経験年数が長くなってから子どもからの暴力を受けた人は少ない傾向にありました。

職員から子どもに対して

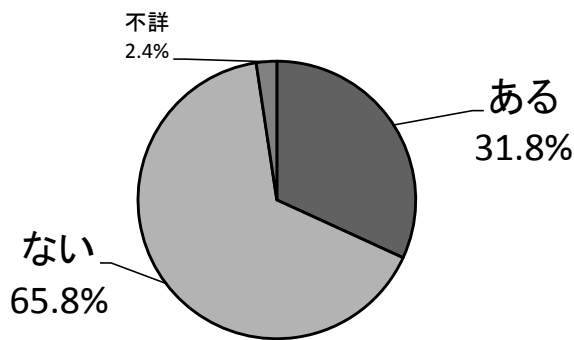


問11 あなたご自身がこれまでに子どもに暴力行為を起こしてしまったことがありますか。

表11-1 子どもに対して暴力行為をしたことがあるか

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
ある	120	31.8	32.6	32.6
ない	248	65.8	67.4	100.0
合計	368	97.6	100.0	

図-14 子どもに対して暴力行為をしたことがあるか (n=377)



職員に、これまで子どもに対して暴力行為をしたことがあるか尋ねたところ、3割以上(31.8%)の職員が暴力をしたことがあると答えました。

*これまでに子どもに対して暴力行為を起こしてしまったことがあると回答された職員の方のみにお聞きます。

問12 ① どのような暴力行為ですか。(複数回答可)

表12-1 職員から子どもに対する暴力行為の内容(ケースの要約)

有効数		ケース		合計	
N	パーセント	N	パーセント	N	パーセント
117	31.0%	260	69.0%	377	100.0%

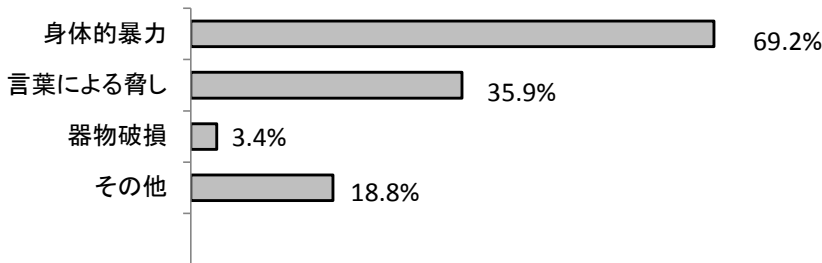
表12-2 職員から子どもに対する暴力行為の内容(度数分布表)【複数回答】

	応答数		ケースのパーセント
	N	パーセント	
身体的暴力	81	34.2%	69.2%

* 身体的暴力（殴る）	7	3.0%	6.0%
* 身体的暴力（蹴る）	13	5.5%	11.1%
* 身体的暴力（叩く）	68	28.7%	58.1%
言葉による脅し	42	17.7%	35.9%
性的暴力	0	0.0%	0.0%
器物破損	4	1.7%	3.4%
凶器による暴力	0	0.0%	0.0%
その他	22	9.3%	18.8%
合計	237	100.0%	202.6%

* 身体的暴力の内訳（殴る・蹴る・叩く）

図-15 職員から子どもに対する暴力行為の内容
(n=117:複数回答)



子どもに対して暴力行為をした職員に、その行為の内容を尋ねたところ（複数回答）、**身体的暴力が約7割(69.2%)、言葉による脅しが3割以上(35.9%)**でした。
（* 性的暴力、凶器による暴力の回答者はいませんでした。）

*これまでに子どもに対して暴力行為を起こしてしまったことがあると回答された職員の方のみにお聞きます。

問12 ② それはいつ頃ですか。

表12-3 職員から子どもに対する暴力行為はいつ頃起きたか（時期）

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1年以内	37	9.8	30.8	30.8
2～3年前	21	5.6	17.5	48.3
3～4年前	6	1.6	5.0	53.3
4～5年前	5	1.3	4.2	57.5
5年より前	46	12.2	38.3	95.8
その他	5	1.3	4.2	100.0
合計	120	31.8	100.0	

子どもに対して暴力行為をした職員に、いつ頃起こしてしまったか尋ねたところ、5年より前が約4割(38.3%)、1年以内が約3割(30.8%)でした。

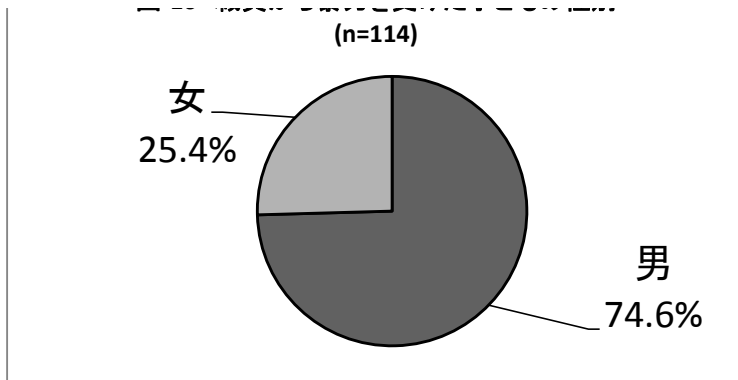
*これまでに子どもに対して暴力行為を起こしてしまったことがあると回答された職員の方のみにお聞きます。

問12 ③ その子どもの性別についてお答えください。

表12-4 職員から暴力行為を受けた子どもの性別

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
男	85	22.5	74.6	74.6
女	29	7.7	25.4	100.0
合計	114	30.2	100.0	

図-16 職員から暴力を受けた子どもの性別



職員からの暴力行為を受けた子どもの性別について尋ねたところ、**男の子が7割以上(74.6%)**でした。

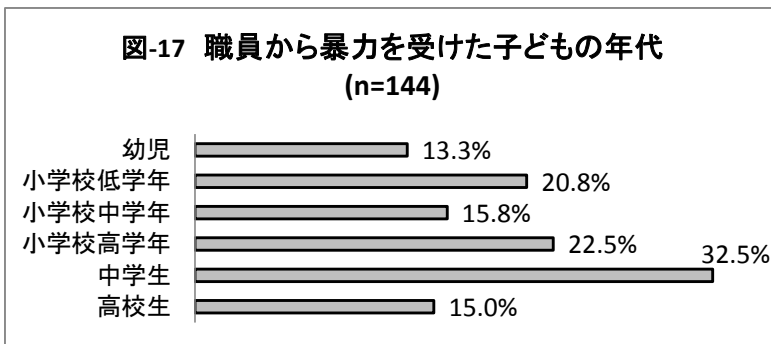
*これまでに子どもに対して暴力行為を起こしてしまったことがあると回答された職員の方のみにお聞きます。
 問12 ④ その子どもの年齢(年代)についてお答えください。

表12-5 職員から暴力を受けた子どもの年代(ケースの要約)

有効数		欠損値		合計	
N	パーセント	N	パーセント	N	パーセント
120	31.8%	257	68.2%	377	100.0%

表12-6 職員から暴力を受けた子どもの年代(度数分布表)

	応答数		ケースのパーセント
	N	パーセント	
幼児	16	11.1%	13.3%
小学校低学年	25	17.4%	20.8%
小学校中学年	19	13.2%	15.8%
小学校高学年	27	18.8%	22.5%
中学生	39	27.1%	32.5%
高校生	18	12.5%	15.0%
合計	144	100.0%	120.0%



職員からの暴力行為を受けた子どもの年代で**最も多かったのは中学生で、3割以上(32.5%)**でした。次に小学校高学年で2割以上(22.5%)、続いて小学校低学年が約2割(20.8%)でした。

*これまでに子どもに対して暴力行為を起こしてしまったことがあると回答された職員の方のみにお聞きます。

問12 ⑤ どのような理由・背景で暴力行為を起こしましたか。

表12-7 職員が子どもに対する暴力行為を起こした理由（ケースの要約）

ケース					
有効数		欠損値		合計	
N	パーセント	N	パーセント	N	パーセント
119	31.6%	258	68.4%	377	100.0%

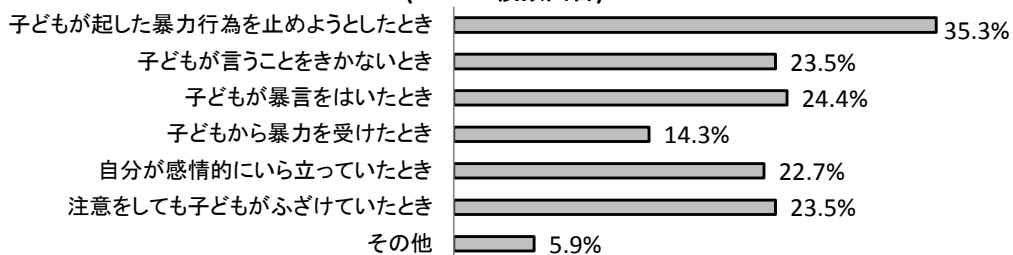
表12-8 職員から子どもに対する暴力行為を起こした理由（度数分布表）

【複数回答】

	応答数		ケースのパーセント
	N	パーセント	
子どもが起した暴力行為を止めようとしたとき	42	23.6%	35.3%
子どもが言うことをきかないとき	28	15.7%	23.5%
子どもが暴言をはいたとき	29	16.3%	24.4%
子どもから暴力を受けたとき	17	9.6%	14.3%
自分が感情的にいら立っていたとき	27	15.2%	22.7%
注意をしても子どもがふざけていたとき	28	15.7%	23.5%
その他	7	3.9%	5.9%
合計	178	100.0%	149.6%

図-18 職員から子どもに対する暴力行為の理由

(n=119:複数回答)



子どもに対して暴力行為をしてしまったことがあると答えた職員に、その理由を尋ねたところ（複数回答）、最も多かったのは「子どもが起こした暴力行為を止めようとしたとき」が3割以上（35.3%）でした。次に「子どもが暴言を吐いたとき」（24.4%）、「子どもが言うことをきかないとき」「注意をしても子どもがふざけていたとき」（23.5%）「自分が感情的にいら立っていたとき」（22.7%）がそれぞれ2割以上で同程度の回答でした。

*これまで子どもに対して暴力行為を起こしてしまっただことがあると回答された職員の方のみにお聞きます。

問12 ⑥ 子どもに対して暴力行為を起こしてしまっただけの状況を詳しく教えてください。

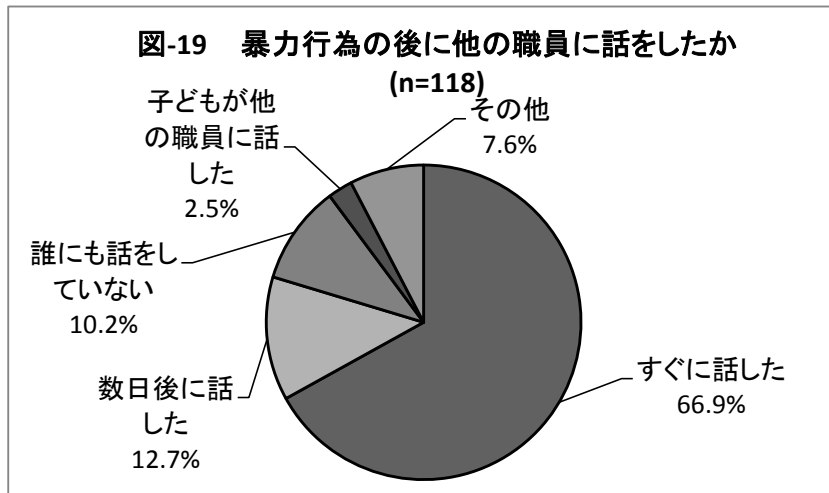
【自由記述】（表12-9） ※本調査報告の巻末資料をご参照ください。

*これまで子どもに対して暴力行為を起こしてしまっただことがあると回答された職員の方のみにお聞きます。

問12 ㉞ 子どもに対して暴力行為を起こしたあとに他の職員に話をしましたか。(相談含む)

表12-10 職員が子どもに対して暴力行為を起こしたあとに、他の職員へ話をしたか

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
すぐに話した	79	21.0	66.9	66.9
数日後に話した	15	4.0	12.7	79.7
誰にも話をしていない	12	3.2	10.2	89.8
子どもが他の職員に話した	3	.8	2.5	92.4
その他	9	2.4	7.6	100.0
合計	118	31.3	100.0	



子どもに対して暴力行為をしてしまったことがあると答えた職員に、その後に他の職員に話をしたか尋ねたところ、**すぐに話したが6割半(66.9%)で、数日後に話したが約1割(12.7%)でした。**また、誰にも話していないと答えたのは1割(10.2%)でした。

*これまでに子どもに対して暴力行為を起こしてしまったことがあると回答された職員の方のみにお聞きします。
 問13 ㉟ 子どもに対して暴力行為を起こしたときの職種をお答えください。

表13-1 職員が子どもに対して暴力行為を起こした時の職種

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
児童指導員	65	17.2	54.2	54.2
保育士	50	13.3	41.7	95.8
個別対応職員	4	1.1	3.3	99.2
その他	1	.3	.8	100.0
合計	120	31.8	100.0	

子どもに対して暴力行為をしたことがある職員に、その時の職種を尋ねたところ、**児童指導員が5割以上(54.2%)で、保育士が4割(41.7%)でした。**

*これまでに子どもに対して暴力行為を起こしてしまったことがあると回答された職員の方のみにお聞きします。

問13 ⑨ 子どもに対して暴力行為を起こしたときの経験年数をお答えください。

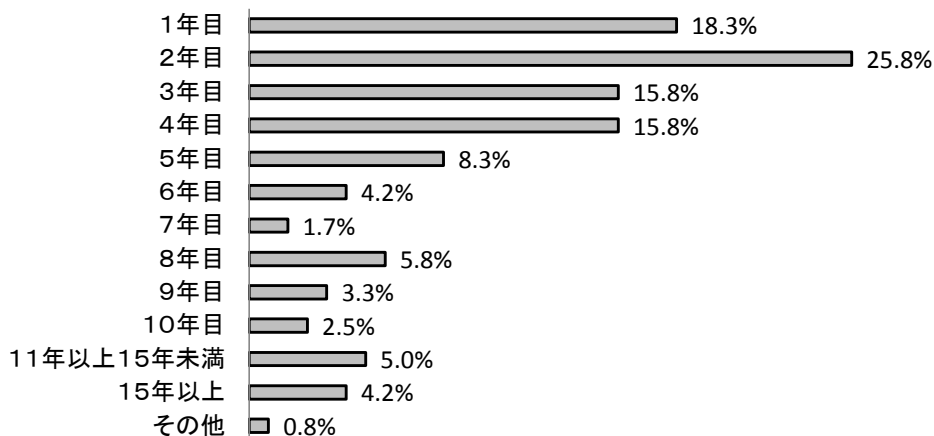
表13-2 職員が子どもに対して暴力行為を起こしたときの経験年数
(ケースの要約)

有効数		欠損値		合計	
N	パーセント	N	パーセント	N	パーセント
120	31.8%	257	68.2%	377	100%

表13-3 職員が子どもに対して暴力行為を起こしたときの経験年数 (度数分布表)
【複数回答】

	応答数		ケースの パーセント
	N	パーセント	
1年目	22	16.4%	18.3%
2年目	31	23.1%	25.8%
3年目	19	14.2%	15.8%
4年目	19	14.2%	15.8%
5年目	10	7.5%	8.3%
6年目	5	3.7%	4.2%
7年目	2	1.5%	1.7%
8年目	7	5.2%	5.8%
9年目	4	3.0%	3.3%
10年目	3	2.2%	2.5%
11年以上 15年未満	6	4.5%	5.0%
15年以上	5	3.7%	4.2%
その他	1	0.7%	0.8%
合計	134	100.0%	111.7%

図-20 職員が子どもに対して暴力行為をしたときの経験年数
(n=120:複数回答)



子どもに対して暴力行為をしてしまったことがあると答えた職員に、そのときの経験年数を尋ねたところ(複数回答)、最も多かったのは2年目で2割半以上(25.8%)、次に1年目で2割弱(18.3%)、そして3年目、4年目が1割半(15.8%)でした。

アンケートにご協力いただいた施設職員の皆様、誠にありがとうございました。